

地域密着型設計演習プログラム

KYUSHU DESIGN CHARENTE

九州デザインシャレット 2018 in 長崎市 テーマ

「まち、人をつなぐ公共空間をデザインする」

近年、にぎわいづくりや居場所づくり、健康増進、地域防災力の向上等、様々な観点から、これまでの概念や制度の枠を超えて、道路、河川、公園、広場等の公共空間を積極的に活用し、心地よい時間と多様な交流を生み出すことで、都市や地域の価値を高める取り組みが増えています。公共空間の計画、設計、施工、運用に携わる専門技術者には、こうした新しい時代の価値観に対応した能力が求められています。本演習では「まち、人をつなぐ」をテーマとして、長崎市において実際に進められている公共空間整備を題材として、デザイン提案を試みる機会を設けました。ぜひ自らの技術力を高めたいという志を持った学生、社会人の皆様にご参加いただければ幸いです。本演習を通じて出会った仲間はその後の人生において共に切磋琢磨し合える貴重な存在になるでしょう。

シャレット (charrette) は仏語で「荷馬車」という意味です。仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から、短期間に集中的に行う演習を意味するようになったと言われています。

■プログラムの特徴

- ①**合宿形式**：設計演習は長崎市に3泊4日滞在し、参加者のグループワークによって行います。各班には若手講師をチューターとして配置し、グループワークの相談のったり、資料や模型の作り方等の技術的なサポートを行います。
- ②**地域密着型**：本演習の開催は長崎市の協力を得ており、特に演習の最終日には実際に事業を進めている関係者に対するプレゼンテーションを行います。良い提案については、現在進められている設計検討に反映される可能性もありますので、ぜひ頑張って良い提案をつくっていただけたらと思います。
(なお、本企画は純粋な設計演習の場であり、ここでの成果について長崎市には一切の責任はありません)
- ③**実務的な講師陣**：講師は各地のまちづくりプロジェクトに活躍する大学研究者に加えて、設計対象地の設計を実際に行なっている箴島氏、吉村氏、全国のまちなか広場の整備・運営に活躍されている山下氏を迎え、実践的な指導を行うメンバーを揃えています。
- ④**初学者から経験者までを対象**：設計演習は、現地見学、講師によるレクチャー、グループワーク、エスキース、デザインスタディ、プレゼンテーション等から構成され、公共空間のデザインを考える際に必要な「コンセプト～プランニング～デザイン～プレゼン」の基礎を体系的に学ぶことができます。講師やチューターが丁寧に指導しますので、初学者でも心配せずに受講を検討してください。
- ⑤**土木学会との連携**：本演習の成果は12/7-9に長崎市で開催される土木学会景観・デザイン研究発表会においてポスター発表することを想定しています。学会への参加は必須ではありませんが、全国の景観・デザイン関係者と交流する素晴らしい機会となりますので、あわせてご検討ください。

NAGASAKI

2018.8.27-8.30

- 開催期間：8月27日(月)～30日(木)
- 演習会場：長崎市民会館(長崎市魚の町5番1号)
- 対象者：学生と社会人をあわせて24名程度
 - ・3泊4日のプログラム全てに参加できる方
 - ・40歳程度以下の方
 - ・定員を超える場合は参加者を選定させていただくことがあります

- 講習費：学生15,000円、社会人36,000円
 - *講習費には飲食代・宿泊代は含まれません。
 - 当日の宿泊は参加者各自での手配をお願いします。

- 募集期間：6月4日(月)～7月2日(月)

□参加申し込み：

- ①氏名、②所属、③性別、④年齢、⑤志望動機(150字程度)、⑥メールアドレス、⑦電話番号をご記入の上、下記の問い合わせ先までお申し込みください。

風景デザイン研究会・事務局(担当・原田) info@fukei-design.jp

*お申し込みの際に頂いた個人情報は本行事のみに使用いたします。

- 建設コンサルタンツ協会 CPD：31.0単位

造園 CPD：31.0単位

- 主催：風景デザイン研究会 協力：長崎市

□講師

ゲスト講師

山下 裕子(ひと・ネットワーククリエイター：広場二スト)

新市庁舎設計チーム

箴島 亮(山下設計：建築デザイン)

吉村 純一(プレイスメディア：ランドスケープアーキテクト)

女鹿 裕介(プレイスメディア：ランドスケープアーキテクト)

風景デザイン研究会

柴田 久(福岡大学 景観まちづくり研究室)

田中 尚人(熊本大学 地域風土計画研究室)

星野 裕司(熊本大学 景観デザイン研究室)

高尾 忠志(九州大学・長崎市景観専門監)

石橋 知也(長崎大学 環境計画研究室)

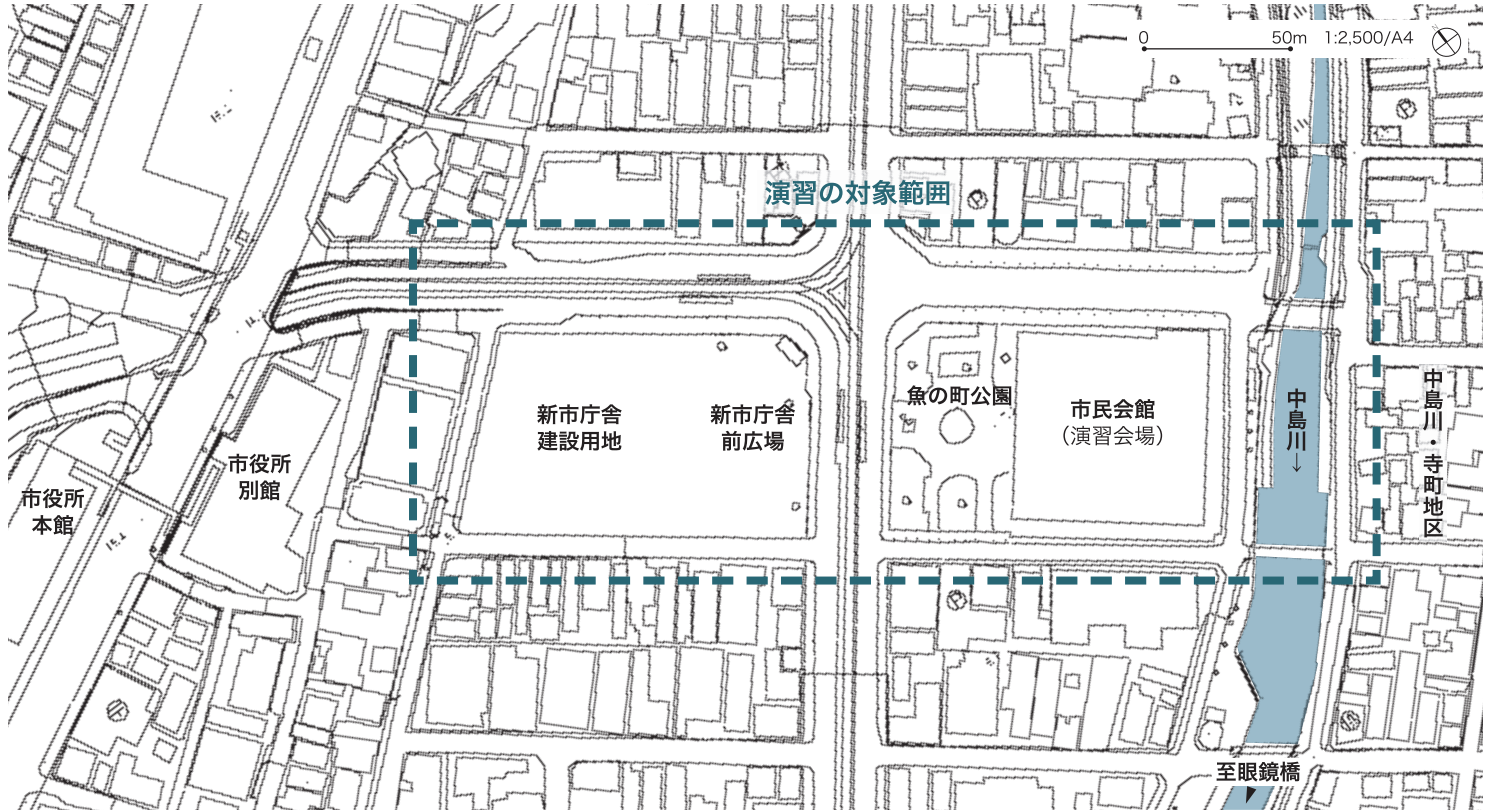
増山 晃太(風景工房・熊本大学 景観デザイン研究室)

池田 隆太郎(福岡大学 景観まちづくり研究室)

ほか

■演習課題

長崎市では、平成34年度の九州新幹線開業効果を高め、まちなか全体の活性化を実現するために、長崎駅とまちなか（中島川・寺町地区）をつなぐ回遊動線の強化に取り組んでいます。その一環として平成34年度完成予定の長崎市新市庁舎前の広場と、その向かいに位置する市民会館前の魚の町公園の整備を検討しています。本設計演習では、こうした背景をうけて新市庁舎前広場・魚の町公園およびその周辺のあり方を検討し、模型等を製作して具体的なデザイン計画を提案することを課題とします。



■プログラム

	8/27 (月)	8/28 (火)	8/29 (水)	8/30 (木)
9:00	 エスキスの様子	講師によるレクチャー②	講師によるエスキス③	プレゼン準備 (グループワーク)
10:00		コンセプトメイキング (グループワーク)		
11:00				
12:00	会場集合	昼食	昼食	昼食
13:00	シャレットの説明	講師によるエスキス②	デザインスタディ (グループワーク)	講師および 地域の関係者による 講評会
14:00	講師によるレクチャー①	講師によるレクチャー③		
15:00	現地調査			
16:00	ブレインストーミング (グループワーク)			
17:00		デザインスタディ (グループワーク)		
18:00	講師によるエスキス①			 講評会の様子
19:00	懇親会			
20:00				